

第3回 多良岳200年の森活動

(第13回多良小学校5年生植樹体験)

実施報告

実施日 平成30年2月1日(木)
9時半 ~ 11時半

植樹場所 多良岳200年の森(ヒノキ団地)

樹種 ケヤキ、コナラ、キハダ、イロハモミジ (全体110本)

参加者 多良小学校 5年生 49名

(生徒47名 教員2名)

佐賀南部林政協議会 8名

(杵藤農林事務所1名・嬉野市役所1名・太良町役場3名・太良町森林組合4名)

植樹指導者(太良町森林組合) 5名 合計 62名

『多良岳200年の森』とは

太良町の町有林の一部で樹齢200年を超えるスギ・ヒノキの森林を目指して「**多良岳200年の森**」事業を始めました。

現在、樹齢約50年の木を長期的に間伐を繰り返し、最終的には1haあたりの本数が100本で、樹高が40m、直径が1mの大径材を目指します。

これまで行われてこなかった長期的な取り組みの中で、技術やノウハウを蓄積し、施業技術の習得のための演習林としての活用と、森林の持つ水源かん養機能、生物多様性維持機能等の公益的機能を発現させるとともに、間伐の際に搬出された、優良な大径材を定期的に出荷し、木材の良さを広く周知する経済林としても活用していきます。

『**太良町のシンボル**』 みんなでつくっていきます！！



『多良岳200年の森』位置図

位置図



ヒノキ団地位置図



『多良岳200年の森』

記念碑集合



多良小学校から多良岳200年の森まで、約30分マイクロバスに揺られながら無事到着



学校は、晴れてたのに
山は、雪が少し積もっていて寒いかな？

子供は風邪の子強い強い♪

太良町森林組合 村井組合長のお話



今回植樹体験する、5年生の皆さんもこの『多良岳200年の森づくり』の一員として参加してるんですよ。

自分たちが大きくなってからでも、『多良岳200年の森』に足を運んでもらえれば幸いです。

植樹についての説明

- ・山の中は、走り回らずけがに注意すること。
(切株や切り枝等に注意)
- ・道具を振り回したりしないこと。



子供達にヘルメットの配布

子供たちの安全の為に、組合より準備していただきました。



植樹体験に関する説明等（太良町森林組合）

いざ『多良岳200年の森』へ 出陣



出陣班、1班10名の5班
各班に、2名ずつ指導者

太良町森林組合の指導者から、子供たちに植樹方法を詳しく指導していただきました。

《植樹方法》

- ①表土をならす。
- ②穴を掘る
(苗木のポット程度)
- ③苗木を置く
- ④土をかぶせる
- ⑤周りを足で踏み固める
(苗木部は踏んだらいけない)
- ⑥再度土をかぶせる
- ⑦苗木が寒くないように、落ち葉等で布団をかぶせてあげる。



植樹方法

指導者の説明を真剣に聞く子供達



植樹狀況



子供たちの『山』づくり～

子供たちのも、寒さを忘れ頑張って植樹体験してました。

作業になれ、自分たちで役割分担をし楽しく植樹している姿が、勇ましく見えました。

『もう苗木ないんですか？まだ植えたいです』

『きついけど楽しいです。』

『木の根っこが、ニンジンみたい』

『すげーこの霜柱！！』

など、

普段は静かな山の中が

大賑わい

200年の森の木々達も楽しめたと思います。

『なかなか穴が掘れなくてきやーなえたー』



『大きな木に育ってね！』

植樹記念に標柱を設置



標語

『守ろうよ 命をつなぐ 自然の恵み』

植樹を終え標柱の前で記念撮影

寒い中での植樹体験でしたが、怪我をすることなく
無事終えることが出来ました。



5年1組



5年2組

最後は、記念碑の前で ハイ！ポーズ



5年1組



5年2組

今回の植樹体験を通じ、子供たちは、山林に関心を持ち山林機能や大事さを学んでもらえたと思います。

植樹した苗木も、子供たち同様すくすくと成長するでしょう！！



最後に、太良町森林組合より子供たちへと、ホックホクの焼き芋を提供していただきました。

残念ながら、給食のときに食べるということで、現物が撮れませんでした↓↓

参加して下さった皆様 お疲れ様でした。